



きっしょう 『吉祥』

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成18年1月5日(木)～2月26日(日)

「吉祥」とは、「めでたい兆し、よい前兆」ということです。

古くから様々なものが「おめでたいもの」とされてきました。「松竹梅」に代表される植物、「鶴」「亀」「鹿」「蝶」といった鳥や獣や虫、「日月」や「雲」「青海波」といった自然、「七福神」「お多福」といった人物、「貝合」や「扇」といった道具、『源氏物語』や『高砂』といった文学・芸能に由来するもの、などなど。そして、これら「めでたい」モチーフは、歌に詠まれ、絵に描かれ、身の回りの道具を飾る模様を用いられました。人生や季節の節目はもちろん、毎日身近において使うものに「めでたいもの」をあらわして、出世や豊かさ、長生き、幸運といった今と変わらない幸せが願われたのでしょう。

新春にあわせておめでたいモチーフを代表する松竹梅と美しい花々を描いた作品を集めました。



「鶴亀松竹梅図」中村西溪

新春の慶び

新年の喜びは和歌や漢詩に詠まれました。新たな年への希望と喜びが詠われています。

松竹梅

「おめでたい」モチーフの代表「松竹梅」。松・竹・梅を一組にまとめる考え方は中国で生まれました。中国では、松は冬の寒さの中でも緑の葉を見せ、竹も緑の葉をつけてまっすぐに伸び、梅は雪の中でも薫り高い花をつけることから「歳寒三友」と呼ばれ、「松竹梅」は世間の困難に耐える徳のある気高く立派な人物をあらわすものとされました。このような「松竹梅」とそのイメージは、室町時代頃に日本へ伝わりました。

しかし、日本ではやがて「松竹梅」は気高く潔い、理想の人物のしるしとしてよりも「おめでたいもの」として用いられるようになります。古来、松は長寿を、竹は子孫繁栄やまっすぐな人物を、梅は新春の喜びをあらわす「おめでたい」モチーフとして用いられていました。また、「歳寒三友」と呼ばれたように、松竹梅の持つ冬の寒さを耐え抜く生命力の強さが、人々に「めでたいもの」とされたのでしょう。

このような松・竹・梅が持っていた「おめでたい」イメージの方が人々に親しまれ、江戸時代には「松竹梅」は正月や結婚などめでたい場には欠かせないものとなりました。

花の美



「桜花群禽図」島田雪谷

植物は花が散っても、葉が落ちてても、翌年には必ず芽を出し、緑の葉をつけ、枝を伸ばして成長することから、強い生命力や命の復活をイメージさせたようです。そのため松竹梅だけではなく、例えば、牡丹は豊かさや高い地位の、バラは若さや不老不死の、菊は不老長寿のしるしとなるなど、いろいろな植物が吉祥モチーフと考えられていました。花々の晴れやかでめでたい美しさと、その形やデザインの面白さも楽しみ下さい。



「花菱亀甲文飛鶴に松竹梅模様繡腰巻」

展示品目録

番号	作 品 名	作 者	時 代	所 蔵
1	「元旦」の詩	まつだいらむねまさ 松平宗昌	江戸時代	越葵文庫
2	「新玉のとしの初めにつどひつつ…」の和歌	まつだいらやすたか 松平康荘	明治～大正時代	越葵文庫
3	鶴亀松竹梅図	なかむらせいけい 中村西溪	江戸時代	春嶽公記念文庫
4	てつくんじょうひらつむぎぢはなびしきっこうもんひかくにしょうちくばいもようしゅうこしまき 鉄群青平紬地花菱亀甲文飛鶴に松竹梅模様繡腰巻		江戸時代	春嶽公記念文庫
5	夏扇 金地に松竹梅鶴亀図		江戸時代	越葵文庫
6	梅に鶴・松に鶴図	まつだいらよしくに 松平吉邦賛	江戸時代	越葵文庫
7	ふくろくじゅ 福祿寿・松に鶴・竹に鶴図	まつだいらむねのり 松平宗矩	江戸時代	越葵文庫
8	まつつるしかもようまきえいんろう 松鶴鹿模様蒔絵印籠		江戸時代	春嶽公記念文庫
9	梅に竹図	のぐちしょうひん 野口小蘋	明治～大正時代(1847年生1917年没)	春嶽公記念文庫
10	うめ おしどり ず ついたて 梅に鴛鴦図衝立	がんだい 岸岱	江戸時代	春嶽公記念文庫
11	日の出梅図	とくがわよしのぶ 徳川慶喜	江戸時代	春嶽公記念文庫
12	桜花群禽図	しまだ せつこく 島田雪谷	明治9年(1876)	春嶽公記念文庫
13	ふるうちょうしゅん 不老長春図	かわのりょうしよ 河野菱渚	江戸～明治(1844年生1900年没)	春嶽公記念文庫
14	牡丹図	まつだいらよしくに 松平吉邦賛	江戸時代	越葵文庫
15	からじ しぼたん もようまきえいんろう 唐獅子牡丹模様蒔絵印籠	松花齋正常	江戸時代	春嶽公記念文庫
16	藤花雉図	いけがみしゅうほ 池上秀畝	1874年生～1944年没	春嶽公記念文庫
17	きつ か こちょう もようまきえあぶみ 菊花胡蝶模様蒔絵燈籠		江戸時代	越葵文庫
18	しっぽうつなぎはなまるまきえりょうしほ 七宝繫花丸蒔絵料紙箱		江戸時代	春嶽公記念文庫
19	おびどめかくしゅ 帯留各種		江戸時代以降	春嶽公記念文庫

見どころ講座「吉祥」

日時 平成18年1月21日(土)午後2時～
場所 講堂(2階)
担当 齋藤千穂(当館学芸員)

【次回の展示】

松平慶民と春嶽公記念文庫
2/28(火)～5/7(日)

展示解説シート No.16 平成18年1月5日発行

福井市立郷土歴史博物館
〒910-0004 福井市宝永3-12-1
電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 齋藤 千穂